

京都教区時報

発行 京都司教区
責任者 村上透磨
京都市中京区河原町
三條上ル
カトリック会館
編集用 TEL・FAX
077-527-6800
(滝野)

Home Page <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/catholic/>

2・3頁 アジア特別シノドスの記事

7頁 田中司教が語るエピソード (8)

点訳版「京都教区時報」〈無料〉ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまで申込み

TEL·FAX 0794-31-8601

みことぼとの出会いを深める

今年も聖書週間行事として「みことばをかう書道・絵画展」が、十三日（金）～二十四日（火）、西院会館において、聖書委員会と福音センターの共催で行われます。また、引き続き三重県研宗館でも展示されます。昨年も多くの方々にご出品いただき、感謝しています。

す。特に昨年は、福音センターのすみえ教室からの出品があり、彩りを添えました。みなさんの精一杯の作品を、一人でも多くの方にご覧いただき、みことばとの出会いを深めてくだされば幸いです。

11
1998

11
1998

文化史の中の宣教

池長潤大司教 (大阪教区)

四月十九日～五月十四日に

ローマで開催されたアジア特別シノドス(各国の司教の代表者の集まり)で池長大司教が四月二十一日に発題されたものを掲載します。

わたしは、アジア、特に東アジアの文化とそこにおける福音宣教について話したいと思っています。

これまで多くの宣教師がアジアで宣教を行ってきました。しかし、なかなか信仰が育たず、洗礼の数も多くありません。それだけではなく、福音的なものの考え方や価値観が、なかなかアジアの社会に浸透せず、状況はいたるところ、神の国と大きくずれています。その原因を探しながら打開の道を探してみたいと思います。

●文化というパイプ

聖徳太子が、中国から仏教を日本に導入したとき、日本人は容易にこれを受け入れました。それからわずかに半世紀の後、天武天皇が、国の繁栄と安泰を祈願するため各地に国分寺を建てた頃には、仏教はすでに国民から国の宗教のように見なされていました。仏教の場合、こんなに短期間のうちにこれ

ほど浸透したのです。

これに対し、聖フランシスコ・ザビエルがキリスト教を伝えてから今日まで、キリスト教は伸び悩み続けています。なぜ仏教は容易に受け入れられ、キリスト教はなかなか広がらないのでしょうか。

その理由として、わたしはまずヨーロッパ文化と東アジア文化の違いを考えます。仏教伝来以前から中国文化は日本に流れ込み、日本に同質の文化を生み出していました。文化的には先輩である中国から仏教が入るとき、同質の文化という太いパイプを通して、何の抵抗もないどころか、むしろ深い尊敬をもって受け入れたと考えられます。

●文化の奥にあるもの

しかし、キリスト教が東アジアに浸透しにくい理由として、欧米文化との異質性だけで考えると問題の全貌を解くために十分ではないでしょう。なぜなら、ザビエルの時代でこそ、東アジア文化は西欧と大きく異なっていました。現在の近現代が始まった明治時代には、政府が率先して学校制度、政治形

態、法制、科学技術を欧米から取り入れました。さらに習俗までも欧米化を奨励しようとしたことは、鹿鳴館に例を見るとおりです。ところが今では、国民自身が文化導入の担い手となり、音楽、演劇、ファッション、食生活、家屋、生活形態など、日常生活の隅々までかなり欧米化は進んでいます。それどころか日本では、着物文化、伝統芸能、食生活、日本家屋とそこで営まれる生活形態などは、随分欧米文化の波に浸食されつつあるのです。

こうして、文化の等質化がかなり進んでいるにもかかわらず、相変わらずキリスト教の宣教ははかどきません。そこに、文化の異質性以外の福音宣教に対する壁を想定する必要があると思います。わたしは、本当の福音化の難しさは文化の違いというより、もっとその奥にある「人の心の違い」といったものに大きな原因があると考えます。それだけに、根本的な問題であり、西欧もアジアもこの事実を認め、この現実を深く理解を示さなければならぬと思うのです。

キリスト教は神と宇宙、永遠の天国と地獄、罪による裁きと功德による報いというように、境界線をはっきりさせ、二つの世界を対立させます。しかし、ヒンズー教や仏教に見るように、日本人やインド、そして東アジアの多くの人々は汎神論者であり、輪廻転生を信じ、人の行為や心もそれほど白か黒かを選別することはできないと感じています。この違いは言い換えれば、欧米人には「父性的」特徴が勝ち、アジア、特に東アジアの人々には「母性的」特徴が目立つと言えるのではないのでしょうか。

父性は区別し、割り切り、切り離すものです。母性は分け隔てず、あいまいもことしたまま、すべてを包み込みます。これらはすでに、遠藤周作氏や河合隼雄氏が指摘してきたことと関係があるのです。そして、これからのアジアの福音宣教にとってきわめて重要な事柄なのです。

キリスト教の神は無限者であり、本来父性的な面も母性的な面も兼ね備えています。ところが、イエス・キリストご自身はアジア人であるにもかかわらず、東アジアのキリスト教はヨーロッパを経て来たので、いつしか父性面を強調しすぎる傾向を持ってしまうのではないのでしょうか。宇宙に満ちる神、信仰によって人々に内在

する神、全てを擁抱し包み込む神、神の愛の普遍性、神の限りない優しさ、ゆるしの大きさ、十字架でキリストがすべての人のあらゆる罪を償われたという救済論、これらは、聖書が描く神そのものの姿です。神学にも、芸術にも、カテキズムや宣教の言葉にも、このような母性的な表現がもつとなされれば、キリスト教は、アジアの人々になじみやすいものとなり、もつと受け入れやすくなると思います。

●アジアの宣教への転換

もう一つ、キリスト教がアジアで受け入れられにくい理由を指摘しておきます。現在まで、福音宣教はケリグマ、ドグマ、カテキズムという系列で、例えば、信仰簡条を敷衍する形で行われてきました。あくまで知的伝授が主であり、その目的は洗礼に導くことでした。確かに、ケリグマ、ドグマ、カテキズムは主としてイエスの教えに由来します。そして、イエスの教えには知的な要素もありました。しかし、イエスの宣教の方法は、これまで教会が行ってきた伝統的なカテキズムのそれとは随分異なっていたことも事実です。イエスの宣教は病人をいやし、差別社会に挑戦し、貧しい人々を支え、ファ

リサイズムの宗教性を拒否し、権力の誤った使用の非につき、御父の心の優しさやあわれみ深さを語りました。このように神ご自身やその心、また神の考え、人間の生活、社会のあり方などについて、身体、存在、実践、非論理的表現や象徴、喩え話などをもって表わしました。

アジアの人々は、知的に真理を伝えることや論理によって表現することも、欧米との交流によって学んでいます。しかし本来は、前述したような、論理とは異なった方法によって伝えることを重視していました。これからは、信仰講座にしても、社会の福音化にしても、しっかりとキリスト教の本質を伝えるためには、アジア的表現をもつて示さないと、いつまでも福音は浸透しないと思います。

●神の国の宣教とみ名の宣教

それではここで、福音宣教で一体何をのべ伝えるのかを考えてみましょう。イエスはどのように神の国（御父の支配）の中にご自分を置いておられたのかというと、激しいまでの御父への愛をもって、その支配のもとに生きておられた、と言うべきでしょう。だから一方でイエスの言動のすべては御父の

支配の反映であり、その意味でイエスの宣教は、神の国の福音を告げることでした。しかし、御父に対する激しい愛が常にあったから、支配の主である御父ご自身のみ名を人々に表わすことにも渴いておられたのです。これがイエスによる御父のみ名の宣教です。福音書には、たびたびイエスによる御父への言及があります。

ところがイエスが復活された後は、ご自分がわたしたち信じる者の中に生きて、御父の支配に日々わたしたちを導き、わたしたちを遣わしながら、わたしたちにおいて神の国を世に現そうとしておられます。わたしたちは御父を愛し、このイエスを愛し、御父やイエスとの交わりを喜びつつ、イエスから与えられた神の国の福音を告げる使命を生きようとするのです。そしてわたしたちも神の国を世に現すと同時に、御父とイエスへの愛から、御父とイエスのみ名をのべ伝えることに渴くのです。

だから何よりも、聖霊によって御父のみ名、イエスのみ名、そして神の国を世に現すことが宣教の中心です。カテキズムにおいては、この宣教の中心をしつかり受けとめられるようにすることが大切で、

伝統的なその他のカリキュラムはアジアに適した方法で、どこかで、ある程度必要な日数をかけて教えればよいのです。イエスは御父とご自分を現し、神の国を現すために、どれほど力を注がれたことでしょう。

●おわりに

最後に、このシノドスに向けて一つのことを言っておきたいと思っています。

神は世界に多様な文化、多様な習慣を持った人々をおかれました。カトリック教会は、普遍的であればこそ、この多様性を包摂するのです。

そこで、次のことが大変大切になると考えます。

●「多様性」が「一」を傷つけることはできません。同様に、「一」が「多様性」を傷つけてはなりません。

●「一」と「多様性」がお互いに傷つくことなく保たれるとき、そこに真のカトリキタス（普遍性）が現れます。

●「一」と「多様性」がいのちにあふれるとき、教会はいのちでみなぎります。そのときにこそ、唯一の信仰を持つ者たちが、その信仰を真に喜ぶことができるのです。

カリスマ・霊の奉仕

沼野 尚美

聖書講座シリーズ「聖書が語る聖霊」の6月24・25日の講演の要旨です。講演のテーマは福音センターで貸し出ししています。

コリントは当時商業都市として栄えていました。しかし、道徳面においては非常にみだれていました。それは当時の大きな問題点でした。その中でパウロがコリントの教会に対して書いたのがコリント人への手紙です。

教会の中で何が問題であったかといいますが、それは「賜物」、私たちのことばに直しますと「才能」ということです。この才能と才能が教会の中でぶつかりあい、競争がおこり秩序がみだれ、それで平和の神を証していませんでした。パウロは思いあまって手紙を書きました。現代の私たちの教会の中でも、良くできて非難にあい、快く思われないということが多々あると思います。これから見ていきますコリント人への手紙一2章・14章を私たちの教会と対比させながら味わっていきましょう。

●全体のために用いられる賜物

12・8「見て下さい。ここでは、

いろいろな賜物について書かれています。ここで言います賜物は教会の中で特別な賜物を持っている人で、誰でもが持っている賜物ではありません。そのためその人たちは特別な役割を担っているのです。「特別な賜物を持っている人は同じ神からいただいたものだから、神のため、隣人のため、全体の益のために使わなければ意味がない」とパウロは言います。12・12では、「イエスは身体であり、私たち一人一人はその身体の一部です」とパウロは言います。このたとえ話から次の三つのことが言えると思います。一つめは、私たちは身体の一部として大事であり、さらに部分部分がお互いを必要とする存在であるということです。二つめはお互いに尊敬しあっていること。三つめはお互いに共感しあっていること。同情しあっていること。三つのことをまとめると、「教会の中で競争しないでください」とパウロは忠告しているのだと思います。

次に、14・18を見て下さい。威厳と予言の区別ということが書

かれています。「威厳を語る人は、恍惚的、熱狂的なに語っているか回りの人に理解できません。

だから威厳を語る人は神に向かつて語ってほしい。反対に予言を語る人は全ての人の理解でき、全ての人の魂を豊かにし、人の徳を高め、人を励まし慰めます。予言というのは神の御心をわかる言葉で伝え、人の信仰を励ますのに大いに有益です」とパウロは言います。

ここまで見てきました箇所から言えることは、パウロは神からいただいた賜物は配慮してでも教会の中で使い、そしてこの賜物を全体の秩序のために用いてほしいと繰り返しているのです。

●キリストの愛を持ち運ぶ

最後に、13章を見ましょう。12章、14章では特別な人々に与えられた賜物について話してきましたが、13章は神から全ての人の人に与えられている賜物「信仰」「希望」「愛」について書かれています。

「愛」について書かれています。愛のない信仰、愛のない希望は無いにひとしいと言うパウロの「愛」について味わいましょう。15項目からなる「愛」が書かれています。繰り返しますが、この「愛」は全ての人の人に与えられているもので、それを信仰、希望とともに実行し

なければ意味がないと思います。

そこで、この15項目の愛は……という部分をキリストは……という言葉に置き換えてみて下さい。実はこの部分は受肉されたキリストの姿であったと言われています。

私たちにはこのような完璧性はありませんが、キリストはこの「愛」の15項目をわきまえて、これを実践されました。ガラティア人への手紙5・6に愛の実践を伴う信仰こそ大切という言葉があります。

この愛は私たちの愛ではなく、キリストの愛をいっているのです。キリストの愛の中に私たちが浸ることによって、私たちがキリストの愛を持ち運ぶ者になります。その意味で全ての人が賜物を持っているということ。イエスの十字架の愛というのは、私たちのために命をかけて全人格的に苦しみがら私たちが助けるために、救うために十字架にかけられたことです。このイエスの愛をパウロは

「愛の賛歌」の中に入れました。私たちもイエスからいただいた愛の賜物を大事にしながら教会の中で秩序正しくまた、人々の中でイエスの身体が健康であるように生きたいと思えます。

特定献金一覧

(1997年度会計報告より)

小教区	児童福祉の日 (1月最終日曜日)	四旬節 愛の献金	東方教会 のため (聖金曜日)	世界広報 の日 (復活節第6主日)	聖ベトロ 使徒座献金 (6月29日直前)	国際協力 の日 (9月第2日曜日)	世界宣教 の日 (10月第3/第4)	アジア 交流の日 (11月23日)	宣教地 司祭育成 (12月第1日曜)	献金合計
小教区 聖信徒数	児童福祉	四旬節	東方教会	広報の日	聖ベトロ	国際協力	世界宣教	アジア交流	司祭育成	特定献金合計
河原町 (1770)	209,983	209,032	145,065	122,123	180,266	191,040	240,907	193,996	193,068	1,685,480
桂 (698)	0	21,600	8,945	5,830	3,050	5,700	17,200	13,950	10,521	86,796
北白川 (332)	22,520	109,740	17,520	17,350	42,170	26,600	35,785	17,940	131,050	420,675
衣笠 (583)	27,516	47,623	40,738	26,655	19,429	28,813	24,388	36,150	31,206	282,518
宇津 (13)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山国 (29)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
九条 (258)	2,650	15,550	950	6,430	5,000	0	8,140	7,000	7,650	53,370
小山 (213)	2,550	2,700	0	2,000	3,000	2,000	715	2,310	1,950	17,225
西院 (620)	28,733	151,697	21,903	18,634	22,975	20,820	17,159	4,360	16,857	303,138
高野 (494)	13,905	75,803	20,000	13,150	13,160	7,500	7,650	12,126	10,750	174,044
西陣 (299)	10,900	32,621	25,380	15,150	31,200	10,255	24,700	13,700	13,300	177,206
伏見 (494)	17,404	78,104	28,044	5,570	9,030	4,200	11,000	0	14,913	168,265
桃山 (453)	22,505	42,557	7,534	5,500	12,710	10,360	11,367	8,651	13,240	134,424
山科 (346)	21,895	48,684	23,471	34,350	31,640	22,250	17,800	17,320	20,175	237,585
八幡 (181)	12,050	53,000	13,405	7,000	12,121	17,800	17,070	13,868	16,798	163,112
宇治 (676)	0	0	0	0	0	0	10,000	0	10,000	20,000
青谷 (266)	9,000	10,609	0	10,848	0	15,125	7,860	0	6,355	59,797
亀岡 (178)	1,500	12,298	5,906	2,575	6,175	7,162	6,458	3,575	9,450	55,099
園部 (118)	1,500	12,299	5,905	2,575	6,175	7,163	6,459	3,575	9,450	55,101
田辺 (467)	34,166	90,043	14,010	8,930	16,909	20,252	35,656	15,164	13,263	248,393
精華 (119)	10,800	13,000	6,600	8,000	6,000	7,801	8,104	4,600	5,200	70,105
長岡 (362)	40,868	118,742	30,123	29,155	43,800	19,700	31,275	11,800	24,000	349,463
綾部 (97)	2,300	940	0	3,600	1,200	0	3,550	1,000	3,700	16,290
福知山 (122)	4,000	4,000	0	4,000	4,000	5,500	5,300	4,000	4,000	34,800
報恩寺 (303)	10,000	40,000	0	10,000	10,000	8,000	0	0	0	78,000
西舞鶴 (344)	11,000	56,587	0	15,000	10,000	41,347	10,000	17,000	0	160,934
東舞鶴 (243)	5,600	40,745	8,000	10,900	3,800	5,100	7,800	0	6,610	88,555
宮津 (392)	16,770	115,464	24,379	13,825	18,510	10,550	17,111	15,260	12,800	244,669
岩滝 (174)	10,951	0	0	11,000	15,667	8,600	10,000	10,400	9,700	76,318
加悦 (263)	13,000	30,000	8,300	10,740	17,600	10,650	11,450	5,000	13,600	120,340
網野 (140)	9,791	9,550	6,800	9,700	9,655	6,060	6,000	0	4,861	62,417
丹後大宮 (144)	7,000	27,000	7,200	10,000	11,500	7,000	7,000	4,500	5,000	86,200
峰山 (136)	6,000	51,022	15,000	6,000	7,000	6,000	6,500	6,000	6,000	109,522
大津 (569)	21,614	7,506	5,100	0	22,210	18,111	8,000	17,200	43,450	143,191
唐崎 (262)	12,369	23,640	6,697	6,200	9,520	15,291	15,716	10,640	8,110	108,183
安曇川 (80)	3,800	13,000	0	3,500	0	1,200	4,000	2,200	3,500	31,200
草津 (678)	1,600	9,200	0	11,500	0	3,000	5,000	500	14,350	45,150
甲賀 (90)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
彦根 (201)	20,605	53,920	0	26,880	44,845	27,935	27,110	6,950	33,350	241,595
長浜 (96)	10,000	18,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	98,000
御所 (144)	19,460	14,913	10,350	10,400	17,650	16,860	31,500	13,100	18,800	153,033
富雄 (315)	17,995	24,800	10,000	14,555	21,920	15,735	12,484	13,510	16,420	147,419
登美ヶ丘 (606)	33,238	53,220	32,346	37,714	27,151	32,150	35,403	25,026	20,575	296,823
奈良 (1096)	10,650	236,355	42,436	4,250	23,405	7,537	10,550	16,200	4,650	356,033
大和郡山 (314)	20,000	161,896	20,100	27,500	28,000	23,150	34,600	26,700	19,000	360,946
大和高田 (506)	10,000	65,033	10,000	11,570	10,000	5,000	10,000	20,000	12,189	153,792
西大和 (271)	16,219	14,499	16,671	13,179	14,268	35,258	11,804	9,292	23,922	155,112
大和八木 (282)	12,233	43,842	5,392	16,392	22,299	26,672	19,301	15,062	18,652	179,845
伊勢 (384)	94,094	72,368	12,245	9,750	19,225	17,581	16,600	0	16,535	258,398
桑名 (325)	7,401	10,000	0	2,000	5,000	0	10,000	9,250	10,860	54,511
鈴鹿 (280)	9,600	20,860	31,484	3,000	39,100	2,720	0	3,500	4,300	114,564
亀山 (60)	4,000	11,000	2,000	2,500	0	1,500	4,500	2,500	0	28,000
津 (445)	46,250	61,983	51,260	24,000	36,580	33,720	40,355	0	90,180	384,328
久居 (177)	16,000	12,000	13,000	15,000	15,000	15,000	20,000	39,320	15,000	160,320
上野 (137)	16,287	31,590	11,365	9,510	18,270	0	11,792	13,465	10,180	122,459
名張 (237)	16,809	68,915	5,901	10,125	16,645	13,235	6,693	8,880	14,046	161,249
松阪 (184)	24,797	32,339	15,420	11,645	20,334	20,349	16,900	27,783	148,403	317,970
尾鷲 (55)	2,090	11,000	0	2,000	0	0	0	0	500	15,590
四日市 (779)	60,592	201,689	11,128	18,747	28,693	21,275	19,600	0	16,500	378,224
宇治カルメル共同体	8,700	7,451	5,100	8,735	5,150	15,400	5,700	7,200	8,200	71,636
小教区 計	1,103,260	2,802,029	813,173	757,242	1,029,007	912,027	1,012,012	741,523	1,207,139	10,377,412

特定献金一覧

(1997年度会計報告より)

	児童福祉 の日 (1月最終日曜日)	四旬節 愛の献金	東方教会 のため (聖金曜日)	世界広報 の日 (復活節第6主日)	聖ベトロ 使徒座献金 (6月29日直前)	国際協力 の日 (9月第2日曜日)	世界宣教 の日 (10月第3/第4)	アジア 交流の日 (11月23日)	宣教地 司祭育成 (12月第1日曜)	献金合計
<修道院>	児童福祉	四旬節	東方教会	広報の日	聖ベトロ	国際協力	世界宣教	アジア交流	司祭育成	特定献金合計
エスコラピオス修道会	10,000	20,000	0	20,000	50,000	20,000	20,000	0	20,000	160,000
女子カルメル会	10,000	100,000	10,000	5,000	20,000	5,000	30,000	5,000	0	185,000
ヌヴェール受難修道士会	0	8,000	1,000	0	5,000	8,000	8,000	10,000	8,000	48,000
ヌヴェール受難修道士会ルルド修道院	10,000	10,000	10,000	10,000	0	10,000	10,000	0	10,000	70,000
ヌヴェール受難修道士会聖母修道院	0	10,000	0	0	0	5,000	0	0	5,000	20,000
ヌヴェール受難修道士会聖母修道院	0	0	0	2,000	3,000	2,000	3,000	0	2,000	12,000
ノートルダム教育修道会	50,000	50,000	0	50,000	50,000	50,000	50,000	0	50,000	350,000
ノートルダム修道会今般道修道院	0	10,000	0	0	0	0	0	0	0	10,000
聖ドミニコ宣教師会	0	10,000	0	0	5,000	0	10,000	0	0	25,000
聖母訪問会天台修道院	5,000	0	5,000	0	0	0	0	0	0	10,000
ユダヤ人宣教師会・ノートルダム	10,000	0	0	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	70,000
マリアの信心会	0	10,000	0	0	0	0	0	0	10,000	20,000
聖母マテオ会	0	0	0	0	0	0	10,000	0	0	10,000
フランスス会	0	0	0	0	0	0	11,000	0	0	11,000
修道院 計	95,000	228,000	26,000	97,000	143,000	110,000	162,000	25,000	115,000	1,001,000
<学校・施設>										
学校・施設 計	1,875,935	281,130	28,900	58,700	68,300	27,100	0	30,200	104,000	2,474,265
合 計	2,984,195	3,083,159	847,073	815,942	1,097,307	939,127	1,012,012	771,723	1,311,139	12,861,677

1997年度の特定献金一覧です。ご協力ありがとうございました。

教区本部事務局 森田直樹



「滞日外国人との交流と共生について」というテーマで考え分か

滞日外国人との交流と共生

ち合うため、九月十二日国際協力委員会担当司祭オヘール師の呼びかけで、京都南部小教区の司祭、修道者、信徒の有志が、河原町会館に集まった。

この集まりには、すでに滞日外国人の方々と深くかわっておられる大和郡山教会の信徒四人の方々をお招きし、今日までの体験をお話して頂いた。

言葉の通じ合わないことに戸惑いながらも変わらない微笑みをもって外国人の方々と接し、願われるままにローマ字典聖歌集を製版した。クリスマス、復活祭には、ポルトガル、インドネシア、タガログ各国語の聖書を朗読し、共にミサを分かち合い、同じ信仰を持つ者が互いの心を通わせるまでになった。これには個々人の積極的な協力、神への信頼、神の愛と導きに依るものがあつたと話された。お話を伺った私たちも「気負わず出来ることから始めよう」と心新たにした。

近年、各地の小教区のミサにも多国籍の信徒の方々が増え、教会自身が国際共同体としてのようになり生き歩むかが問われている。

田中司教が語るエピソード (8)

▼エキュメニズムについて何か思
い出がありますか？

◆私は直接にエキュメニズムを担
当していませんでしたが、特に、
日本聖公会と親しくさせて頂きま
した。例えば、一九七九年九月二
十九日にアグネス教会で行われま
した八木京都主教の按手就任式に
参加したり、一九八三年一月二十
九日には京都新聞社長パウロ白石
英司氏の密葬を大原で八木主教と
一緒に共同司式をしたりしました。
その時、白石氏の棺の上には教皇
から頂かれたサンシルバストロ勲
章と服装や剣が飾ってありました。
一九八三年五月十八日には日本聖
公会主教団とカトリック司教団の
合同礼拝式が東京のイグナチオ教
会で行われました。信仰を殆ど同
じくする司教同志が合同礼拝をし
たのですから参列者に強い感銘を
与え、素晴らしいものでした。ま
た、その時の聖公会の主教団の服
装が白赤黒と大変派手だったこと
も思い出されます。

一九八七年三月二十八日に難産
だった日本聖公会名古屋主教に京
都の法用師が選出され、アグネス
教会で按手式が行われましたが、

それにも招待されて
参加しました。法用
主教とも八木主教を
通して親しくさせて
頂きました。五月十
六日に日本聖公会組
織百年礼拝式が大阪
聖マリアアカデラル
を用いて行われまし
た。これは聖公会に
二千人を収容するこ
との出来る大きな教会が無かつた
のでこうなったのだらうと思いま
す。この時にはカトリックの司教
団も招待されて参加しました。



一九八八年三月十四日に日本聖
公会の八木・法用主教とカトリッ
クの相馬・田中司教の懇親夕食会
をもちました。これは八木主教の
企画によるものと思いますが、八
木、法用、相馬の三人は雄弁で、
社交的で話題も多く、私はもっぱ
ら聞き手で相づちをうつ位でした
が、三人と親交を深めることが出
来て満足致しました。

一九九五年七月一日に武藤六治
師が京都主教に選ばれ、その按手・
着座式が行われましたが、それに
も参列いたしました。このように

度々日本聖公会の式に参加させて
頂いてキリスト教の中でも聖公会
の典礼や祭服がカトリックと殆ど
同じであることを知り感じました。

その他、京都にはNCC（日本
キリスト教協議会）宗教研究所が
あり、私もその理事に加えられ、
年に二回程ですが理事会に出席し
て各派のプロテスタントの牧師さ
んとお会いし、諸宗教のことや財
務についての話し合いをもちまし
た。また、京都独自のこの集りを
KCCと言います。

▼今度は教区の平和運動について
簡単に聞かせて下さい。

◆はい、教皇様は二十五年前頃か
ら毎年一月一日を「平和の日」と
してメッセージを送って下さいま
した。日本の一月一日は正月気分
で平和について深く考えたり、実
行に移ったりするのにはやや不都合
があるもので十五年位前だったと思
いますが、日本の教会の為に司教
団は八月六日・十五日を「平和旬
間」と定めました。京都教区では
それに向けて「平和への歩み実行
委員会」を作って準備をすること
にしました。そして、「平和一斉
祈願ミサ」とか「中学生の広島平
和巡礼」、旬間中の日曜日の午後
に河原町三条から円山公園までの

「国際平和行進」などを企画し、
実行しました。それらは年々に盛
り上がっていきました。今の日本
には日本人ばかりでなく滞日外国
人も沢山いますので、彼らにも呼
び掛けてこれらの行事に参加して
もらいました。オリンピック程で
はありませんが、韓国、フィリピン、
アメリカ、カナダ、メキシコ、
エルサルバドル、ニカラグワ、
ブラジル、アルゼンチン、チ
リなど、色々な国の人が旗を持ち、
やさしい歌をスピーカーによるリー
ドに従って歌いながら行進しまし
た。こんなに国際色豊かな行列は
他宗ではあまり見られず、歩道を
行く群衆は珍しように眺め、京都
カトリックの名物の一つになりま
した。この平和行進は暑さと警官
の指示に従って歩くことで大変で
した。ですが毎年五百人位の参加
者があったと思います。これも京
都教区ビジョンの精神から出た一
つの行動であると思われれます。

これらは平和旬間の一齣ですが、
「平和への歩み実行委員会」は一
年間を通じて、正平協や日本カト
リック部落問題委員会と連携して、
勉強会や合宿をしたりして真の平
和の為に努力し、祈りました。

(つづく) 文責・編集部

お知らせ

福音センターより

電話 075 (822) 7123

FAX 075 (822) 7020

◆福音センター養成コース

◆コミュニケーションコース 12

月5日(土)～6日(日)。三重

県研宗館。一万四千円。自分と人

を生かす、聴く伝える練習

◆西院カトリック会館での行事

▼おてんとさんの会 毎火曜日13

時～16時30分。会費二百円。13日

は五周年記念の食事会です。

▼すみえ教室 第2、第4木曜日

13時30分～15時。講師|| Sr野元品

子。会費二千円(二回分)と教材

費

▼神父が語る文化史こうざ 4日

(水) 10時30分。テーマ|| 徳川家

と東照宮。資料代五百円

▼12月の文化史講座のテーマ変更

|| 角倉了以と高瀬川

◆教区委員会より

◆正義と平和京都協議会学習会

21日(土) 19時。テーマ|| 沖繩か

らのメッセージ。河原町会館6階。

連絡075 (223) 2291

この秋、「周辺事態法」という

法案が、国会に出されます(新ガ
イドライン)。戦争が起こると自
衛隊、国の行政機関、自治体、国
民も協力させようとする内容のも
のです。平和を願う多くの人は、
今、危機感をもって百万人署名を
しています。私たちが危機的状況
におかれていることを知っている
のでしょうか。息子や娘を戦争に
送れますか? 平和を築くために、
沖繩からのメッセージを聞いてみ
ましょう。

三重地区より

◆三重県カトリック研宗館の行事

▼暮しの中のカウンセリング 第

2、第4月曜日10時～12時30分

▼茶道教室 毎木曜日13時

▼AAグループ 毎土曜日19時

◆殉教者ミサ 8日(日)。津教会

◆終生誓願式 28日(土) 11時。

カランドレットの聖ヨゼフ修道会

本部修道院(津市半田1330)。

大塚司教司式。終生誓願宣立者||

Sr山田郁子

奈良地区より

◆大和郡山教会バザー 1日(日)

◆大和高田教会バザー 1日(日)

◆ミニ・ファミリーデー 1日

(日)。大和八木教会。教会に集う

フィリピン人、ベル人、ポリビ
ア人、日本人などがひとつになっ
てミサとバザー、パーティーを行
う。

◆正義と平和奈良協議会一日研修

3日(火) 14時～16時。大和八木

教会。テーマ|| 反省と課題

◆典礼講習会 7日(土) 16時～

ミサ(18時)、8日(日) 9時30

分～15時。奈良教会。講師|| 森田

師

◆奈良結婚互助会 15日(日)。

登美ヶ丘教会

◆奈良教会初聖体 22日(日)

◆奈良カトリック大会 23日(月)

13時～15時30分。登美ヶ丘教会。

テーマ|| 奈良県の共同司牧。わた

したちの共同司牧

滋賀地区より

◆草津教会墓地ミサ 1日(日)

◆滋賀カトリック協議会例会 22

日(日) 13時30分。唐崎教会

◆草津教会愛徳会遠足 予定

京都北部地区より

◆納骨堂にて死者の祈り 1日

(日)。東舞鶴教会

◆峰山教会バザー 3日(火)

◆西舞鶴教会行事 ▼十字架山に

て死者ミサ 3日(火) 14時▼男

性の集い 6日(金) 19時30分▼
親睦小旅行 8日(日) 豊岡・出
石方面。豊岡教会にてミサ、京極
マリア菩提寺参詣▼七五三祝福式

15日(日) 9時ミサにて▼青年の

集い 27日(金) 19時30分▼中高

生の集い 28日(土) 18時

京都南部地区より

◆朝禱会 毎火曜日7時～8時。

河原町教会。食事及び雑費|| 三百

円。

◆手話きょうしつ 毎木曜日19時

30分～21時。西院会館。主催|| カ

トリック聴覚障害者の会京都グルー

プ。連絡|| 福音センター柳本

◆コロチエレステ練習日 第2、

第4木曜日10時～12時。河原町教

会地下ホール

◆教会の祈りと聖体賛美式 1日

(日) 17時30分。河原町教会

◆力ナの会結婚相談室開設・例会

1日(日) 13時受付、13時30分～

15時。河原町会館

◆西陣教会秋季合同追悼慰霊祭

1日(日) 9時30分

◆京都カトリック混声合唱団練習

日 1日(日) 14時～、8日(日)

14時～、22日(日) 14時～、26日

(木) 18時～。河原町教会

◆河原町教会一般追悼ミサ 2日

- (月) 18時30分
- ◆京都南部ウォーカソン 3日
- (火)
- ◆聖マリア養護学校バザー 3日
- ◆希望の家バザー 8日(日)
- ◆北白川教会バザー 8日(日)
- 10時15分
- ◆SVP例会 8日(日) 13時
- 河原町教会
- ◆コロチェステ追悼ミサ 12日(木)
- ◆信睦二金会 13日(金) 10時
- 13時。西陣教会。会費五百円
- ◆親交会秋季例会 15日(日) 10時
- 30分河原町教会ミサに出席。後会館で懇親。
- ◆古着バザー 15日(日) 10時15分。北白川教会
- ◆在世フランススコ会京都兄弟会研修会 15日(日)。仁川教会(西宮市)。11時ミサ。昼食後研修。講師||吉田師(コンベンツアル・フランススコ会)
- ◆レーナ・マリア・コンサート 18日(水) 18時30分。京都公会館第一ホール。一階席三千円、二階席二千五百円。連絡075(231)4338 京都YMCA
- ◆河原町教会黙想会 21日(土)
- ◆レジオ・マリエコミチウム 第

大阪教区より

- 3日曜日13時30分。河原町会館
- ◆京都キリシタン研究会例会 22日(日) 14時。河原町会館
- ◆SVP京都中央理事会 22日(日) 13時。河原町教会
- ◆榊みその会 26日(木) 14時45分。九条教会。
- ◆ノートルダム教育修道女会来日五十周年感謝の集い 29日(日)
- ◆衣笠教会献堂四十周年記念ミサ 29日(日)
- ◆九条教会物語者追悼式 29日(日)
- ◆京都カトリック混声合唱団チャリティコンサート 29日(日) 14時30分開演。河原町教会聖堂。ロッシニ作曲ミサ曲「アデステ・フィデレス」他。入場料||千円。収益金は京都カリタス会に寄付します。連絡075(951)4283 則武
- ◆京都マックハイキング 予定
- ◆行事予定
- ▼「インドへ友愛の手を」チャリティコンサート 12月5日(土) 19時。京都府立府民ホール「アルティ」。二千五百円(当日三千円)。連絡075(781)2049 東朝子まで

その他の

- ◆英知大学カトリック研究講座 10日、17日、24日(火) 18時~19時30分。テーマ||ルカ文書における聖霊の働き。講師||今道瑠子(英知大学非常勤講師)。一講座(三回)千六百円。会場||北野教会(大阪市北区豊崎3-12-8)。問合せ06(491)5000 英知大学
- ◆英知大学生涯学習教養講座 12日(木) 13時30分~14時50分。テーマ||日本語からみる日本人の特性。講師||村上治子(英知大学助教授)。15時~16時20分。テーマ||禅の呼吸法にまねぶ。講師||松山康國(英知大学教授)。一般千円、学生五百円。会場||英知大学(尼崎市若王寺2-18-1)。問合せ06(491)5000 英知大学
- ◆大阪教区主催生涯養成コースの案内 21日(土) 15時30分~23日(月) 15時。関西地区大学セミナーハウス。テーマ||「聖霊と交わりと証しへの息吹き」その2。定員八十名。一万五千円。申込||13日まで。連絡06(946)3234 大阪教区生涯養成委員会事務局
- ◆エリザベト音楽大学創立五十周年記念特別演奏会 12日(木) 18時30分。ザ・シンフォニーホール。曲目||A・ドヴォルザーク作曲「スタバト・マリエル」。指揮||黒岩英臣。演奏||エリザベト音楽大学合唱団・同管弦楽団。連絡0744(23)0330 仲川久代まで
- ◆FAX新設
- ▼ノートルダム教育修道女会今海道町修道院 075(701)7108
- ▼聖母学院小学校 075(642)9586
- ◆電話番号訂正
- ▼南勢カトリックデイサービスセンター(FAXと兼用) 0598(58)3125
- ◆郵便番号訂正||メリノール女子学院512の1205
- ◆「一万匹の蟻運動」基金報告累計19,909,565円
- 加入者 870名
- (9月14日現在)
- ◆電話番号情報コーナー
- ▼いのちの電話(相談窓口) 075(864)4343
- 0742(35)1000
- 052(971)4343
- ▼京都市東九条在宅介護支援センター(24時間体制) 075(662)3971

大塚司教の

11月のスケジュール

- 1日(日) 衣笠墓地・大日山墓地
合同墓参
1日(日) 3日(火) 正平協担
当者会議(東京)
5日(木) 司教協議会常任委員会
(東京)
9日(月) 12日(木) 日本司教
団韓国訪問
15日(日) 22日(日) 聖書週間
15日(日) こひつじの園訪問、ミ
サ14時
16日(月) 教区内カトリック学校
校長会14時~16時
17日(火) 大和郡山カトリック幼
稚園訪問
17日(火) 大阪・京都合同司教顧
問会
18日(水) 教区修女連代表者会議
19日(木) 司祭全体集会(5日の
予定が変更になりました)
19日(木) 司祭評議会(集会後)
20日(金) 草津カトリック幼稚園
訪問
21日(土) 京都南部・滋賀地区教
区会計説明会(河原町教会) 14時
~16時
21日(土) 奈良地区教区会計説明
会(奈良教会) 19時~21時

22日(日) 教区一斉京都教区創立
記念ミサ・アジア交流の日
23日(月) 奈良カトリック大会
(登美ヶ丘教会)

24日(火) 京都北部地区教区会計
説明会(宮津教会) 19時~21時
26日(木) 司教顧問会

26日(木) 教区付司祭集会
27日(金) メリノール学院理事会
(四日市) 14時

28日(土) カロンドレットの聖ヨ
ゼフ修道会終生誓願式(津)

28日(土) 三重地区教区会計説明
会(三重県研宗館) 16時~18時
29日(日) 衣笠教会献堂四十周年
記念ミサ

29日(日) ノートルダム教育修道
女会日本宣教五十周年記念ミサ

◆帰天
▼大塚栄三さん、9月30日。大塚
司教の父上。

◆司祭の異動(9月17日付)
▼桂・九条・西院・長岡教会共同
宣教司牧協力司祭 札幌教区司祭
の外崎豊(とのさきゆたか) 師

◆編集後記
お知らせに載せたい情報は、12
月号でしたら11月2日までに、1
月号掲載の来年の予定でしたら12
月1日までに、FAX077(5
27) 6800にお願いします。

青年センタースポーツ大会に大集合!!

秋といえば、スポーツ。

そろそろ恒例になってきまし
た青年センター主催のスポーツ
大会を、今年も開催することに
なりました。

▼15日(日) 12時集合

▼ノートルダム学院小学校グラ
ウンド(地下鉄「北山駅」下車、
東へ徒歩五分)。雨天の場合は、
同体育館にて行う予定です。

▼種目がソフトボールの予定な
ので、グローブ、バットなどを
お持ちの方は持参して頂けると
有り難いです。もしも、他の種
目を行いたい場合も!!

11月開催ということで、寒く
感じられるかもしれませんが、
寒い時こそスポーツです。

昨年は、草津ふれあいグラ
ウンドで行われ、三十名の参
加があり、大いに盛り上が
りました。今年は、ノートル
ダム小学校に場所を移し、
京都での開催となりますが、
大勢の参加を心よりお待ち
しています。

◆青年センターの開館時間

土曜日・第2、第4日曜日
13時~18時

火曜日・木曜日14時~19時
水曜日・金曜日15時~20時

月曜日・第1、第3、第5
日曜日・祝日 休館

連絡075(822) 62
46

FAX(812) 6685

あんてな ((((((()))



((())) あんてな